

# ぜんしゅうきょう

2008  
APRIL

4月



## 「こんな仏壇あったらいいなコンテスト2008」を開催

全国から約500人が来場し、成功裏に終了。今後は隔年実施が検討課題に

全宗協の主催による初の「こんな仏壇あったらいいなコンテスト2008」が2月13～14日の2日間にわたって東京・有楽町の東京国際フォーラムで開催された。同時に開催した第2回全国研修会では、東京大学名誉教授の養老孟司氏が講演。講演会は組合員のほか一般にも開放され、こちらもコンテスト同様好評で、初のイベントは成功裏に終了した。

今回のコンテストは全宗協の組合員にとどまらず、国内の関

連業界団体に所属する仏壇製造・卸・小売業者に広く出品を呼びかけて開催された。どの業界でも、参加資格をその団体の構成員に限定するケースが大半だが、そうした点でも今回のコンテストは画期的だったといえる。オープンな姿勢が評価されたこともあり、審査対象作品は82本に及び、これに招待出品8本を含め、合計90本の仏壇が展示された。

2日間で全国からおよそ500人が来場、このうち一般の来場

者も170～180人前後と全体の3割近くに及んだ。コンテストではこうした来場者による投票と審査員の選考により、17の受賞作品が選ばれた。その表彰式で安田理事長は、「本当は皆さんの出品作一つひとつを表彰したい。それほど優れたお仏壇がそろったことを大変誇りに思っている。引き続き皆さん方によりいつその努力をお願い申し上げ、再びこの催しが2年後にできるように私どもも最大限の努力をしていきたい

い」と述べ、このコンテストを隔年で継続していく意欲を示した。この隔年実施は今後の検討課題になるが、今回の成果を踏まえて前向きに考えていくことになりそうだ。

今回のコンテストでは機能性やデザインを追求する仏壇あり、テーマ性を重視する仏壇ありと、多種多様な作品が揃った。コンテストとは別に、ここで示されたエネルギーを業界の活性化につなげていくことが求められるだろう。

なお、コンテストでは保志卸センターの「コーナー用モダン仏壇（ゆとり）」が金賞を受賞。各賞には賞状などが贈られた。



### CONTENTS

- 2面 「こんな仏壇あったらいいなコンテスト2008」  
主要受賞作品発表
- 3面 アンケート紹介 / 養老孟司氏が講演 /  
「第1回おぶつだん俳句コンテスト」の活用
- 4面 第21回通常総会のお知らせ /  
ニューリーダー部が研修会を開催 / 仏事コーディネーター試験
- 5面 第3回役員会報告 / 事務局から / 会員増強委員会活動報告
- 6面 そよ風 / ひろば / NL交差点

# CONTEST REPORT

## こんな仏壇あったらいいな コンテスト2008 主要受賞作品発表

(株)保志卸センターの「コーナー用仏壇(ゆとり)」が金賞に輝く

金賞

### 「コーナー用モダン仏壇 ゆとり」

(株)保志卸センター(福島県)

部屋のコーナーにもぴったり収まる仏壇。スペースを有効に使えるだけでなく、空間レイアウトも楽しめる。

サイズ：140×37×36(cm)

参考価格：500,000円

銀賞

### 「仰げば尊し 報恩感謝」

森正(株)(徳島県)

流木とアクリル板を使い、自然の造形美と人工的な美しさを調和。創作一品物を意識してさまざま仕掛けを試みた。

サイズ：180×90×70(cm)

参考価格：2,400,000円

銀賞

### 「空 series 茜(あかね)」

(株)小野屋漆器店(福島県)

意匠登録申請中

榆と漆、ガラスの素材感を生かした作品。

サイズ：80×120×30(cm)

参考価格：760,000円

全国中小企業団体中央会会長賞

### 「ジオン」

柴山仏壇(株)(静岡県)

高級家具材として知られるシカモアをクリヤー塗装し、見る角度によって木目が浮き上がって見える。

サイズ：140×42×46(cm)

参考価格：960,000円

審査員特別賞

### 「みやび」

ずゞや(株)(徳島県)

扉のガラスデザインと天板上のガラス、光沢のある表情がモダンで上品なイメージ。

サイズ：104×48×43(cm)

参考価格：1,081,000円

「こんな仏壇あったらいいなコンテスト2008」

## （アンケート紹介）コンテストに寄せられた声

「都市型仏壇、創作仏壇といろいろな仏壇を拝見し、楽しませていただきました。伝統を重んじつつも時代変化に合わせて工夫されているのを感じました」（50代・女性）

「部屋の中で目立つのではなく、溶け込めるような仏壇が希望です。自分の仏壇にと思うものが何点もあり、大変ためになった」（70代・女性）

「本日見せていただき、宗教を超えて親や先祖を尊ぶ道具として大変よいと感じました」（60代・男性）

「小さくて持ち運べるものがあればいいと思います」（40代・男性）

「地方地方の特色をいっぺんに拝見でき、とても楽しかったです」（40代・女性）

「都市型ももう少しサイズについて考えられたものを作っていたきたい。家具の一つとしても導入しやすいような収納家具との一体型や壁掛け、ニッチなスペースを利用できるようなものがあればよいと思います」（30代・女性）

「思い出の品、写真なども飾れるような空間のある仏壇がいいと思います」（60代・女性）

「和洋両室にマッチし、仏壇らしくなく木目の美しいものがほしい」（60代・男性）

「朱塗りの伝統的技法を活かしつつ、現代の生活様式にも見合ったデザインがよい。最近よく見かける「ギソ」のないもの」（40代・男性）

「伝統的な要素は残しつつ、インテリアの一つとして部屋に置きたくなるような仏壇がよい」（20代・男性）

「将来の住環境に合わせた仏壇の開発が進むとよいと思います」（30代・女性）

「皆さんがいろいろ工夫されていて感じさせない家具のような仏壇も多数ありました」（30代・男性）

## 第2回全国研修会で養老子孟司氏が講演

一般来場者も参加する

コンテストの初日に当たる2月13日は第2回全国研修会として養老子孟司氏による講演が行われた。研修会には105人の組合員が参加したが、同時に一般消費者にも門戸を開放するという新しい試みがなされた。

養老氏は「今そこそこの時代 現代人の脳に映る宗教」と題して講演。この中で養老氏は日本人の多くが宗教を尋ね

満員の聴衆を前に講演する養老子孟司氏



られると「無宗教」と答えることに触れ、「無宗教」の「無」は仏教を指すのではないかと指摘した。養老氏によれば「般若心経」は220文字くらいしかないが、この中には「無」という文字がほぼ1割あるという。

そして、仏教は脳科学と非常に縁が深いとして、脳の働きを解説。五蘊は脳機能そのものを表しているなどと語った。

「第1回全国おぶつだん俳句コンテスト」に続々投句集まる地域との交流で目標の3万句を達成しよう

全宗協が主催する「第1回全国おぶつだん俳句コンテスト」の受付が2月から始まった。このコンテストは消費者から投句してもらうという対話型の啓蒙活動でおぶつだんのイメージを向上し、市場に浸透させる目的で企画された。

募集するのはおぶつだんに関する思い出や心に残ったことなどをテーマにした俳句で、優秀作品には金賞（1点・副賞10万円）、銀賞（2点・副賞5万円）、佳作（5点・副賞1万円）の各賞が贈られる。さらに、応募者の中から抽選で100名に図書カード（1千円）をプレゼントする。

すでに続々と応募が集まっているが、コンテストを主管する広報委員会（森正委員長）では3万句を目標に掲げ、4月末日まで引き続き作品を募っている。組合員に対してもお彼岸のチラシで俳句を募集したり、お寺さんにポスターを貼ってもらうなどの活動と呼びかけている。

また、お盆までには優秀作を一冊にまとめた句集を刊行し、これを組合員に購入してもらい、その売上金でコンテストの事業資金をまかなうこととしている。

なお、コンテストの専用ウェブサイトを開設しており、このサイトから直接投句することができるようになっている。ウェブサイトURLは左記の通り。

<http://www.obutsudan-haiku.com/>



第21回総会の舞台となる  
名古屋のシンボルといえば  
やはり名古屋城だ



# 第21回通常総会を5月20日(火)に名古屋で開催

僧侶でアナウンサーの川村妙慶氏が講演

第21回通常総会は5月20日(火)に名古屋のウエスティンナゴヤキャッスルで開催される。現在、東海地区ではこれに向けて着々と準備を進めている。すでに講演会の概要も決定。僧侶(西蓮寺)でアナウンサーの川村妙慶氏が「100倍楽しくなる仕事と人生」と題して講演する。

また、翌21日にはオプションとして小旅行とゴルフが企画されている。小旅行

では徳川美術館を訪問する予定で、ゴルフは四日市カントリー倶楽部で開催される。

通常総会では、新年度予算のほか役員の変更も行われ、新しい体制が決まる。東海地区協議会会長の井上芳徳氏は「交通が便利で、今、元氣といわれる名古屋の地へ多くの組合員、ご家族の皆さんがお越しになることをお待ちしております」とメッセージを送っている。

## ニューリーダー部が研修会を開催

都内の仏壇店見学とグループ討議を展開

昨年10月にニューリーダー部が創設されて初となる研修会が「こんな仏壇あったらいいなコンテスト2008」の開催に合わせ、2月13日、14日の2日間に行なわれて開催された。初日の研修では初めに事例発表が行われた。この事例発表に基づきディスカッションでは5つのグループに分かれ、「宗教界の現状把握」「宗教離れに対する対応策」「全宗協のあり方」「一般向けの資格制度」「寺院との対応」をテーマに白熱した議論を展開された。その後は屋形船での懇親会も開催され、参加者間の交流を図った。

がわ銀座店・八木研ギャラリーメモリア東京銀座・浜田商店・滝田商店の4店舗を見学した。コンテストの搬出入などの作業の合間を縫った研修会だったが、参加者にとっては有意義な研修となった。



はせがわ銀座店

八木研  
ギャラリーメモリア  
東京銀座



研修を控え、ミーティングを行う  
ニューリーダー部の部員

### 【仏事コーディネーター資格試験の実施状況】

(単位:人)

		H16年 (第1回)	H17年 (第2回)	H18年 (第3回)	H19年 (第4回)	合計
受験者数	東京	289	133	90	88	600
	大阪	331	199	92	111	733
	計	620	332	182	199	1,333
合格者数	東京	284	126	77	57	544
	大阪	328	196	83	95	702
	計	612	322	160	152	1,246

は平成21年となっている。  
なお、第1回(平成16年)の合格者の更新

平成20年度(第5回)「仏事コーディネーター」試験は、11月12日に開催  
平成20年度の仏事コーディネーター試験は11月12日に東京と大阪の2会場で開催される。これまで同様、受験対象は全宗協組合員の事業所の従業員となっている。これまで4回開催された試験では延べ1,333人が受験、1,246人が合格している。  
最近はおもすれば講習を受ければ試験に合格するといった誤解も生じているようだが、やはりしっかりと勉強をしなければ合格は難しい。受験生を抱える各事業所では再度この点を留意していただきたい。

## 第3回役員会を開催

### 第21回通常総会などについて確認

第3回となる役員会が2月13日に東京で開かれた。役員会では、5月に名古屋で開催される第21回通常総会及び次回開催地について確認した。同時に、理事改選についての手順を決定。この結果、理事については3月31日までに地区で候補者を選任し、4月24日の理事会で同意を得、5月20日の総会で選挙（指名推薦）するというスケジュールになった。

次いで、ニューリーダー部への平成20年度助成金について、前年と同様の額の支給を決定した。また、今後ニューリーダー部部長の理事会出席を確認した。さらに、「第1回全国おぶつだん俳句コンテスト」の実施状況についても確認した。このほか、仏事コーディネーター資格制度や、秋の全国研修会などについて協議した。



役員会の模様

## …事務局からのお知らせ…

### 「こんな仏壇あったらいいなコンテスト2008」 「全国おぶつだん俳句コンテスト」が 共に独自ドメインを取得

事務局ではこのほど、「こんな仏壇あったらいいなコンテスト2008」と「全国おぶつだん俳句コンテスト」の独自ドメインを取得しました。これに伴い、従来の全宗協のウェブサイトのみならず、この2つのウェブサイトにも組合員の皆様のホームページとのリンクをお願いいたします。

特に「全国おぶつだん俳句コンテスト」は現在、作品を募集中で、このウェブサイトから直接投句することができますので、多くの方にこのサイトを見ていただくためにも皆様のホームページとのリンクが重要になります。それぞれのURLは以下の通りです。

「こんな仏壇あったらいいなコンテスト2008」

<http://www.iina-but Sudan.jp/>

「全国おぶつだん俳句コンテスト」

<http://www.obutsudan-haiku.com/>

また、これとは別に引き続き全宗協ホームページの「加盟店紹介」お店紹介ページの製作を承ります。希望される方は事務局までご連絡ください。

ご負担額は1ページ当たり10,000円（税別）です。



## 報 告

ご母堂やす様	東海	ご逝去	地区
享年 19年12月16日 95歳	トモ工陶業(株)・可児安一	ご逝去日	組合員名
		享年	

## 新規加入 (10月～1月分)

安藤 幸延 (有)安藤商店  
岐阜県岐阜市梶川町7  
両角 匠一 (株)両角佛壇  
長野県茅野市玉川7516

## 組合創立時の377名まであと12名

保志正之委員長

全宗協では組合員の獲得運動を展開しているが、2008年2月末で組合員数は365名に達した。全宗協の組合員数は創立当時には377名を数えていた。しかし、その後は減少傾向が続き、一時は270名まで落ち込んだ。このため、会員増強委員会（保志正之委員長）では、「創立時点の377名必達」を当面の目標に掲げ、全力で組合員の獲得に当たってきた。これまでに本部に問い合わせなどで接触のあった業界関係者はもちろん、各地区協議会に取引先をすべてあげてもらい、それらをリスト化して増強委員が勧誘を進めてきた。その結果、目標にあと12名というところまで迫ることができた。今後も最終目標の500名を目指してさらに活動が続く。



会員増強委員会の  
精神的な活動で  
組合員が増加



(株)水野正勝商店  
(静岡県静岡市)  
水野 伸治



ひ・ふ・み  
COMMUNICATION  
COLUMN

私がこの業界に入ってから14年が過ぎました。14年の間に、仏壇業界、そして世の中も大きく変化したのではないかと思います。当時は携帯電話も普及しておりませんし、インターネットもまだまだ一般的ではありませんでした。唐木仏壇も黒壇・紫壇の伝統型が主流でその下のクラスに桜色・マホ(マホガニーの略)といったものが安物の代名詞でありました。柿や鉄刀木・樺といった材を使用した仏壇もありましたが、主流ではなかったように思います。

そのころの仏壇は、仏壇とはかくあるべきといった感じで、限定された仕様の中で各メーカーが切磋琢磨してきたように思います。現代では、携帯電話やテレビなどは一人一台、パソコンも一般的になり、パソコン同士であれば無料で会話ができる世の中になりました。

仏壇におきましても家具調や新型仏壇、創作仏壇、和木仏壇(樺・楠・栓等の和材を使用した仏壇)と多種多様になってきております。人々の意識も大きく変化してきており、宗教観も大きく変化しつつあります。企業の経営も大きく変わってきておりますし、当社も絶えず変化を求められ、また対応してきました。しかし、変えてはいけないものもあるので、と私は最近思っております。ご先祖様を尊び供養する心や、物造りに対するこだわりです。そしてこれからもこの尊い仕事に携わることが出来ることに感謝し、静岡から物造りを発信して参りたいと思います。

(株)永樂屋  
(滋賀県彦根市)  
宮川 知子



ニューリーダー  
NL 交差点

不思議なご縁でニューリーダー部設立準備委員会から参加させていただき、この度、幹事に選出いただきました。

ニューリーダー部設立準備委員会に携わせていただく前は、私にとって「全宗協」とは馴染みの薄いもので、どちらかという父親の年代の方の集まりのイメージが非常に強かったのが本音です。でも、ニューリーダー部設立準備委員会からニューリーダー部設立までの間に同年代の他産地の同業の方とお会いさせていただき、同じような疑問や悩みを抱えていることが解り、背中を押していただくような気持ちになりました。

宗教離れや仏壇の小型化など仏壇仏具業界を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。しかし、このニューリーダー部が設立された事で、改めて業界を見つめ直す契機となり、10年後20年後について真剣に考え議論を重ね、この業界が明るいものになることを信じて活動を行っていきたいと思います。

微力ではありますが業界の発展のために頑張りたいと思いますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

そよ風

## お仏壇の前で そよ風を感じてください

(有)佛光堂 中崎佛壇店(青森県青森市)  
中崎 けい子



本州の最北端、青森県。その県庁所在地であり「オンラインの街づくり」を目指している青森市。人口はあと77名で31万人になる青森市は、3月に入って最高気温が2〜4度と以前のテーマである「四季を彩る青森路」今まさに、蕾から芽吹きの季節に移りつつある。

と聞いている。その青森市の中心地に続く、各宗派の寺院が4ヶ所連なる(旧)寺町通りの一角に我が店がある。創業は明治2年、写真でしか知らない曾祖父、祖父に続き、父は16歳から仏師として北海道・函館に修行に出された。

寺院の欄間などは部屋いっぴいになり、1日、1日、仕上がっていく工程を見るのがとても興味深かった。削りかすで遊んだ記憶も今では懐かしい。たまたま姿が見えない時は塗場にこもっていたが、私たち子供は塗場には入れてもらえず、ガラス戸の外から眺めていたのをよく思い出す。

そんな父も昭和54年に亡くなり、大きなものは仕入れに頼ることになったが、それまで店守をしていた母を手伝い、母を見習い、お客様に教えられ、支えられ、気が付くと平成18年である。母から店を引継ぎ、7月に店舗をリニューアルし、11月には従業員と共に仏事コーディネート。

お仏壇の前でそよ風を感じていただきたい。

編集後記

今号からデザインを一新、製作スタッフも変わりました。ぜひ皆様のご感想やご意見をお聞かせください。今後もよりよい会報作りに努めてまいります。また、掲載する記事にも、皆様の「生の声」を反映してまいります。